

◎注意事項をよくお読み下さい



リソナ 経済フラッシュ

(日本4月景気ウォッチャー調査)

2019/5/14

リソナホールディングス 市場企画部

〇概況

- ◆ 4月景気ウォッチャー調査、現状の基調判断は据え置かれた
- ◆ 現状判断DIは前月から上昇、先行き判断DIは低下
- ◆ 現状については改元のお祝いムードや10連休の特需などが好感された一方、先行きについては海外情勢等に対する懸念が重石となった

- ✓ 景気の実況に対する判断DIは前月から0.5ポイント上昇の45.3と2か月ぶりに上昇した。家計、企業関連DIは上昇し、雇用関連DIは低下した。
- ✓ 2～3か月先の景気の先行きに対する判断DIは48.4と前月から低下し、5か月連続の50割れとなった。
- ✓ 現状では、「新元号に関連した商戦、ゴールデンウィークの10連休など、消費が活発になるきっかけがあったことから、景気はやや良くなっている」（北海道＝スーパー）などの一方「一部の電機、部品メーカーから採用抑制の意向が出てきている。携帯電話の販売状況や米中貿易摩擦の影響が出ており、これまでの採用計画を抑える状況にある」（南関東＝民間職業紹介機関）などのコメントがみられた。先行きについては「中国の景気後退で製造業の客からの予約に影響が出てくる」（東海＝都市型ホテル）などのコメントがみられた。
- ✓ 4月の景気ウォッチャーの見方は、「このところ回復に弱さがみられる。先行きについては、海外情勢等に対する懸念がみられる。」とまとめられた。

【景気の実況判断DI(季節調整済)】

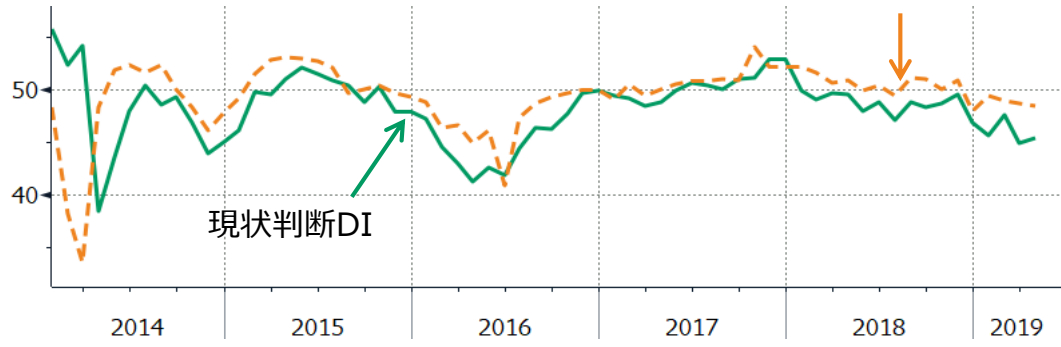
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	前月差
合計	49.5	46.8	45.6	47.5	44.8	45.3	+0.5
家計動向関連	49.3	46.6	44.6	47.1	44.2	44.7	+0.5
小売関連	47.1	45.3	42.5	45.8	43.5	43.6	+0.1
飲食関連	51.1	47.2	44.2	45.2	42.4	42.3	▲0.1
サービス関連	52.1	48.6	48.5	49.9	45.6	47.5	+1.9
住宅関連	54.1	49.2	47.3	49.3	46.7	44.7	▲2.0
企業動向関連	48.5	46.1	46.6	46.9	44.9	46.0	+1.1
製造業	48.1	45.7	43.4	44.8	41.9	44.9	+3.0
非製造業	49.2	46.8	49.4	48.8	47.2	47.2	+0.0
雇用関連	53.3	48.8	49.9	50.7	48.4	47.8	▲0.6

【景気の先行き判断DI(季節調整済)】

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	前月差
合計	50.8	47.9	49.4	48.9	48.6	48.4	▲0.2
家計動向関連	51.0	48.0	50.0	48.5	48.6	48.8	+0.2
小売関連	50.1	47.9	49.6	47.4	48.8	49.7	+0.9
飲食関連	52.2	44.4	49.7	46.3	44.7	47.5	+2.8
サービス関連	52.0	49.1	51.0	51.4	50.3	48.5	▲1.8
住宅関連	52.8	48.2	48.9	47.5	43.7	43.5	▲0.2
企業動向関連	49.0	46.3	46.8	48.7	47.7	47.3	▲0.4
製造業	48.1	44.2	45.2	49.9	47.8	46.7	▲1.1
非製造業	49.9	47.8	48.0	48.1	47.7	47.9	+0.2
雇用関連	53.1	49.8	51.3	52.3	49.9	47.4	▲2.5

【出所】内閣府、IN情報センター

【景気ウォッチャー調査の推移】



◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。